

欧米での高い評価・実績を集結させた、新コンフォートタイヤ

PROXES CT01

新発売

東洋ゴム工業株式会社（社長：片岡善雄）は、静粛性と運動性能を兼ね備えた、新コンフォートタイヤ『PROXES CT01（プロクセス・ティー・ゼロ・ワン）』を、平成16年3月1日より全国で発売を開始します。

「PROXES」は、TOYO TIRES がアメリカ・ヨーロッパにおいて高い評価と様々な実績を誇るタイヤ・ブランドで、このたびの新商品『PROXES CT01』は、これらの評価・実績に基づき、輸入車をはじめ日本国内のセダンユーザーに向けて開発した、新コンフォートタイヤです。これまでのコンフォートタイヤに求められていた「静粛性」「乗り心地」に加え、「運動性能」をも兼ね備えたという特徴をもっています。

1.アメリカ・ヨーロッパで高い評価と実績をもつ TOYO TIRES 「PROXES」

「PROXES」は、TOYO TIRES が1989年からアメリカ・ヨーロッパにおいて発売しているタイヤブランド。スポーツタイヤ「PROXES T1-S」、SUV用タイヤ「PROXES S/T」などがあり、『Ultra High Performance』というフレーズの通り、そのパフォーマンス性が好評を得ており、総輸出本数は今や1,000万本を越えています。

「PROXES」は、イギリスのスポーツマシン『TVR』への標準装着や、2003年公開のカー・アクション・ムービー『ワイルドスピード×2』が主演車両装着タイヤとして採用、アメリカの専門誌「TIRE REVIEW MAGAZINE」のタイヤブランド調査で3年連続総合ランキング1位を獲得するなど、様々なジャンルから高い評価を得ています。

この「PROXES」ブランドの新コンフォートタイヤ『PROXES CT01』を日本発売することにより、真のグローバル・ブランドとしての成長を図っていく所存です。



「静」と「動」の性能をあわせもつ新コンフォートタイヤ

PROXES CT01

2.コンフォートタイヤに求められてきた静粛性に加え、運動性能を兼備

これまで、コンフォートタイヤといえば、「静かさ」「乗り心地」を求める傾向が強くありましたが、『PROXES CT01』はこの静粛性・走行安定性はもちろん、輸入車などアッパーミドルクラスの車に求められる「運動性能」をもあわせもつ、新コンフォートタイヤです。

3. TOYO TIRES 独自の技術による開発

フルパターンモデルによる解析が可能な、TOYO TIRES 独自の新しいタイヤ設計基盤技術「Tモード」による様々なシミュレーションを駆使。静かさを追求するための新開発「ノイズプロテクションシート」などの新採用技術や、優れたウェット性能を発揮する「フレックスマルチフルコンパウンド」の採用など、TOYO TIRES 独自の技術や実績を集結させました。

4. 発売サイズ

30シリーズ	35シリーズ	40シリーズ	45シリーズ
275/30R20	245/35R20	225/40R18	225/45R18
275/30R19	245/35R19	235/40R18	215/45R17
	255/35R18	245/40R18	225/45R17
	265/35R18	215/40R17	235/45R17
	275/35R18	235/40R17	
		245/40R17	
		255/40R17	
50シリーズ	55シリーズ	60シリーズ	65シリーズ
215/50R17	225/55R17	205/60R16	205/65R16
225/50R17	205/55R16	215/60R16	195/65R15
225/50R16	215/55R16	225/60R16	205/65R15
	225/55R16	235/60R16	215/65R15

全33サイズ(予定)
印は4月発売予定

5.発売日

平成 16 年 3 月 1 日

以上

■「PROXES CT01」の情報は <http://toyotires.jp> でもご覧になれます。